

GPD-4116

HDLC 通信インタフェースモジュール用 DOS ライブラリ



概要

GPD-4116 は、MS-DOS, PC DOS 上のアプリケーションから、弊社 HDLC 通信インタフェースモジュールの制御を行うためのソフトウェアです。

特長

- 最大 208 ポートまで弊社 HDLC 製品を制御することができます。
 - I/O モジュールの自己診断を行うプログラム、動作確認プログラムが付属しています。
 - 自由なフォーマットで HDLC フレームの送受信が行えます。
 - FCS 付加、チェックを自動的に行います。
 - 一つのフレームで最大 16378 バイトのデータ送受信が行えます。
- ※製品型式によっては、最大 16384 バイトのデータ送受信を行うことができます。
- I/O モジュール上に送信バッファを用意してあるため、連続してデータ送信が行えます。
 - I/O モジュール上に受信バッファを用意してあるため、アプリケーションプログラムが他の処理を実行していても、データ取りこぼしが発生しません。
 - I/O モジュールからのイベント発生時にて、ユーザアプリケーションにイベントを通知できます。
 - I/O モジュールからのイベント発生時にて、ユーザが登録した処理(コールバックルーチン)を実行することができます。
 - HDLC モジュール製品に対応しています。下記のような特長があります。
- ・最大 8 チャンネルの通信を制御することが可能です。
 - ※PCI/CTP/CPZ-423108Q, PCI/CTP/CPZ-423208Q のみ最大 8 チャンネル可能です。
 - ・最大 48 点のデジタル入出力を制御することが可能です。
 - ※PCI/CTP/CPZ-423108Q, PCI/CTP/CPZ-423208Q のみ最大 48 点可能です。

対応 OS

Interface DOS System(ネットワークモデル)
Interface DOS System(日本語環境モデル)

対応言語

Turbo C Ver. 2.0(英語版)
Turbo C++ Ver. 4.0
Borland C++ Ver. 5.0, 5.2
Microsoft C Ver. 6.0
Microsoft C/C++ Ver. 7.0, 8.0
Open Watcom C/C++ Ver. 1.5, 1.6

注意事項

—